

# 主 論 文 要 旨

No. 1

報告番号	甲 乙 第	号	氏 名	田邊 浩介
主論文題目： 疎結合構成と FRBR・FRSAD モデルに基づく書誌情報システム				
(内容の要旨)				
<p>利用者が図書館の資料にアクセスするために必要な情報として、図書館では長きにわたって、資料の書誌情報を作成してきた。しかし、資料のデジタル化の進展や多メディア化に伴う新たな検索ニーズが生まれているのに対し、それらを前提としていない既存の書誌情報ではそれらのニーズに十分に応えることができなくなっていると指摘されている。</p> <p>それらのニーズに基づく調査と議論の結果、新たな書誌情報のモデルとして FRBR (Functional Requirements for Bibliographic Records) が 1997 年に、同様に主題情報のモデルとして FRSAD (Functional Requirements for Subject Authority Data) が 2010 年に策定され、研究が行われてきた。しかし、既存の研究は FRBR の Work に相当する情報の自動同定など、既存の書誌情報に対する FRBR モデルの適用に主眼を置いているものが多く、実際に FRBR・FRSAD モデルに基づく書誌情報を新規に作成・共有し、利用者に提供するためのシステムに焦点を当てた研究は見当たらない。</p> <p>FRBR による書誌情報の作成における困難な点は、FRBR の Work エンティティの作成にある。ある出版物に対して FRBR による書誌情報を作成する場合、その出版物 (Manifestation) が既存の著作 (Work) をもとにしたものなのかどうか、あるいは全く新しい著作 (Work) をもとにしているものなのかを判別しなければならない。しかし、この判別基準は図書館が提供する資料の内容、ならびに対象とする利用者によっても異なるため、実際に Work の判別作業を行うには相当の困難が予想される。</p> <p>この FRBR・FRSAD モデルによる書誌情報の作成の問題を解決するために、本研究では、疎結合構成によるシステムの実装モデルを提案した。本実装モデルは、Manifestation・Item の情報を扱う既存の書誌情報システムである MI ハブ・MI システムと、Work・Expression の情報を扱う WE システム、Thema・Nomen の情報を扱う SC システムによる疎結合構成で構成され、各システム上の書誌情報は、LinkedData によって接続される。</p> <p>本研究では、WE システム・SC システムに相当するシステムを新たに開発し、MI ハ</p>				

ブに CiNii Books, MI システムに既存の図書館の書誌情報システムを用いて, 疎結合構成による FRBR の Work・Expression・Manifestation・Item の各エンティティの作成・共有・ナビゲーションを行うためのシステムを構築する手法を示した. 具体的には, 国立教育政策研究所教育図書館が明治初期から現在使用されている教科書まで網羅的に収集している約 10 万冊の教科書コレクションのうち, 同図書館が NACSIS-CAT に登録している戦前の教科書 14488 件の書誌データと, 同図書館が維持管理している教科書のための分類「教育図書館教科書分類」, ならびに日本国内の図書館で広く用いられている分類「日本十進分類法」9 版を使用して, 10212 件の Work エンティティ, 11018 件の Thema エンティティ, 22036 件の Nomen エンティティを, それぞれ別の WE システム・SC システム上に作成し, またそれらの各エンティティの関連情報を用いた資料検索システムを構築した.

これによって本研究では, WE システムや SC システムを用いて, Work の識別基準や Them の作成基準が異なる複数の図書館やコミュニティにおいて, FRBR の Work エンティティや FRSAD の Thema・Nomen エンティティの作成が行えること, ならびに既存の書誌情報へのナビゲーションの機能を提供する, FRBR・FRSAD モデルによる疎結合構成の書誌情報共有システムの構築を行えることを示した.

キーワード: FRBR, FRSAD, 図書館, 書誌情報